

## 令和5年春の叙勲

令和5年4月29日  
在クリチバ日本国総領事館

令和5年4月29日、日本政府は、令和5年春の外国人叙勲受章者を発表し、この中で以下2名の叙勲が公表されましたのでお知らせします。

### 1 フェルナンド エイゾウ オノ (Fernando Eizo Ono)

- ・ 賞賜： 旭日重光章
- ・ 功績概要： ブラジル日系人として初めて最高裁判所にあたる労働高等裁判所の判事に就任し、約10年間にわたる同裁判所判事としての活動等を通じて、パラナ州及びブラジルにおける日系人の地位向上や対日イメージの向上に大きく貢献した。また、日本国最高裁判所判事がブラジルを訪問した際には、ブラジル労働高等裁判所との協議をアレンジし、労働法制や労働問題等にかかる両国の相互理解に尽力した他、日本からの要人来訪時にはブラジル日系社会を代表して対応する等、様々な形で両国の関係発展に貢献した。
- ・ 主要経歴： 元労働高等裁判所判事

### 2 タダアキ ヒロセ (Tadaaqui Hirose)

- ・ 賞賜： 旭日中綬章
  - ・ 功績概要： ブラジル第二の日系社会を有するパラナ州において、日系人として初めて連邦判事に就任。ブラジル南部3州を統括する第四管区連邦地域裁判所では、管理官や長官等の要職を務め、この間、訴訟手続きの電子化等を通じた司法改革を推進する等、ブラジル司法界に功績を残し、日系人の地位向上や対日イメージの向上に大きく貢献した。
- 更に、外務省招聘プログラムで訪日した後、司法分野における両国の相互理解の促進に尽力し、在クリチバ日本国総領事館に法的助言等を行い、その活動を支援するところもあった。

- ・ 主要経歴： 元第四管区連邦地域裁判所長官